



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社日新 上場取引所 東  
 コード番号 9066 URL <https://www.nissin-tw.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石川 操 (TEL) 03(3238)6631  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	108,928	△30.2	1,024	△68.8	2,359	△39.2	976	△58.9
2020年3月期第3四半期	156,030	△6.0	3,282	△25.0	3,881	△23.2	2,372	△28.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,584百万円(△16.8%) 2020年3月期第3四半期 3,107百万円(73.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	50.21	—
2020年3月期第3四半期	120.04	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	124,053	61,413	47.6
2020年3月期	118,678	60,437	48.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 58,988百万円 2020年3月期 58,023百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2021年3月期	—	28.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	△25.5	1,100	△68.8	2,500	△39.2	1,000	△63.0	51.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	20,272,769株	2020年3月期	20,272,769株
2021年3月期3Q	1,081,582株	2020年3月期	723,189株
2021年3月期3Q	19,444,657株	2020年3月期3Q	19,765,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は当第3四半期連結会計期間より、「従業員持株会信託型ESOP」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	
(追加情報)	
(セグメント情報等)	
(その他の注記事項)	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①当第3四半期の経営成績

当第3四半期累計期間は、10月以降、欧州・米国において新型コロナウイルス感染症が再拡大し世界経済の本格的回復には至りませんでした。日本経済においては、7～9月期において、実質経済成長率が4四半期ぶりに前期比増に転じ、10月以降更なる回復が期待されましたが、新型コロナウイルス感染症第三波の兆しが見られ、景気回復の減速要因となりました。

このような状況ながら、当社グループの貨物取扱量は10～12月期には前年実績に迫る回復を見せました。一方、旅行業においては旅客数が回復せず、厳しい事業環境が継続しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間（以下「第3四半期」）における売上高は前年同期比30.2%減の108,928百万円、営業利益は前年同期比68.8%減の1,024百万円、経常利益は前年同期比39.2%減の2,359百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比58.9%減の976百万円となりました。セグメントの業績は以下のとおりとなります。

## ②セグメントの業績

## (i) 物流事業

## [日本]

航空輸出は10月以降海上輸送からのシフトにより物量が増加しました。中国向け電子部品航空輸出は第3四半期を通じ好調を維持しました。食品関連輸入、倉庫保管、国内配送、生活雑貨関連貨物の輸入取扱い、家電製品輸入も好調を維持しました。

## [アジア]

タイでは自動車関連貨物の荷動きが回復し、航空輸送量は前年同期を上回りました。ベトナムでは電子部品関連貨物の航空輸出が第3四半期を通じ好調を維持、11月からは国内二輪配送業務を開始しました。

## [中国]

香港発電子機器、部品の航空輸出は好調を維持しました。欧州向け生活雑貨関連貨物の鉄道輸送も堅調に推移しました。一方、中国における事務機器関連DC業務終了に伴い、倉庫部門、フォワーディングの収益に影響がありました。

## [米州]

倉庫部門は家電、自動車部品の保管、配送業務が10月以降も好調を維持しました。また、10月に入り港湾混雑による海上貨物の代替輸送が急増し収益に寄与しました。

## [欧州]

ドイツは家電製品の保管、配送業務が引き続き堅調でした。英国では自動車工場が生産を再開したものの、取扱い貨物の増加は限定的でした。フランス、ベルギーでは季節商材の航空輸出が活発に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比5.0%減の105,107百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比7.1%増の2,350百万円となりました。

## (ii) 旅行事業

人件費経費削減に取り組みましたが、業務渡航者数に回復の兆しが見られず厳しい経営状況が続きました。

この結果、売上高は前年同期比93.4%減の2,931百万円、セグメント損失（営業損失）は1,920百万円（前年同期 セグメント利益（営業利益）419百万円）となりました。

## (iii) 不動産事業

10月以降、若干駐車場収入に持ち直しが見られたものの、本格回復には至りませんでした。

この結果、売上高は前年同期比9.8%減の1,156百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比12.3%減の584百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金が増加したほか、新倉庫への設備投資や土地の取得を行い、有形固定資産が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5,374百万円増加の124,053百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が減少しましたが、新倉庫への設備投資資金などの調達により長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,398百万円増加の62,639百万円となりました。

純資産は、「従業員持株会信託型ESOP」を再導入したことによる自己株式の取得により減少しましたが、その他有価証券評価差額金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ976百万円増加の61,413百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より1.3ポイント減の47.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、物流事業に想定以上の回復が見込まれるため下記のとおり修正いたしました。

詳細につきましては本日2月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 147,000	百万円 100	百万円 1,000	百万円 300	円 銭 15.21
今回修正予想（B）	147,000	1,100	2,500	1,000	51.43
増減額（B－A）	－	1,000	1,500	700	－
増減率（%）	－	1,000.0	150.0	233.3	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	197,387	3,528	4,114	2,705	137.13

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,367	20,182
受取手形及び売掛金	24,060	24,520
原材料及び貯蔵品	105	96
その他	5,246	4,671
貸倒引当金	△86	△79
流動資産合計	48,693	49,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	61,755	63,044
減価償却累計額	△40,798	△42,818
建物及び構築物(純額)	20,956	20,226
機械装置及び運搬具	14,458	14,479
減価償却累計額	△10,561	△11,002
機械装置及び運搬具(純額)	3,896	3,476
土地	21,833	23,556
その他	4,574	7,781
減価償却累計額	△2,633	△2,738
その他(純額)	1,941	5,042
有形固定資産合計	48,629	52,302
無形固定資産		
借地権	507	504
その他	1,182	1,138
無形固定資産合計	1,689	1,643
投資その他の資産		
投資有価証券	13,093	14,994
長期貸付金	532	373
退職給付に係る資産	846	927
繰延税金資産	1,622	748
その他	3,696	3,803
貸倒引当金	△125	△131
投資その他の資産合計	19,666	20,714
固定資産合計	69,985	74,660
資産合計	118,678	124,053

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,803	10,360
短期借入金	9,211	10,031
リース債務	2,282	2,202
未払法人税等	940	662
賞与引当金	2,158	1,251
役員賞与引当金	38	—
その他	6,083	5,916
流動負債合計	31,518	30,424
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	13,658	19,317
リース債務	3,143	3,035
長期未払金	352	115
繰延税金負債	584	601
退職給付に係る負債	5,073	5,289
その他	1,910	1,855
固定負債合計	26,722	32,215
負債合計	58,241	62,639
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,711	4,736
利益剰余金	48,298	48,177
自己株式	△1,063	△1,543
株主資本合計	58,043	57,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,621	3,901
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△1,237	△1,127
退職給付に係る調整累計額	△1,404	△1,253
その他の包括利益累計額合計	△19	1,521
非支配株主持分	2,413	2,424
純資産合計	60,437	61,413
負債純資産合計	118,678	124,053

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	156,030	108,928
売上原価	131,058	88,871
売上総利益	24,971	20,056
販売費及び一般管理費	21,689	19,032
営業利益	3,282	1,024
営業外収益		
受取利息	86	52
受取配当金	410	392
持分法による投資利益	242	124
為替差益	59	45
助成金収入	—	903
その他	203	268
営業外収益合計	1,001	1,786
営業外費用		
支払利息	321	298
その他	80	153
営業外費用合計	401	452
経常利益	3,881	2,359
特別利益		
固定資産売却益	35	48
受取保険金	※1 207	—
特別利益合計	242	48
特別損失		
特別退職金	—	※2 180
投資有価証券評価損	107	33
固定資産除却損	180	17
固定資産売却損	0	1
災害による損失	※3 78	—
特別損失合計	365	232
税金等調整前四半期純利益	3,758	2,175
法人税、住民税及び事業税	1,191	888
法人税等調整額	67	261
法人税等合計	1,258	1,149
四半期純利益	2,499	1,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	126	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,372	976



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,499	1,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	406	1,278
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	58	87
退職給付に係る調整額	157	150
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	42
その他の包括利益合計	608	1,558
四半期包括利益	3,107	2,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,990	2,517
非支配株主に係る四半期包括利益	117	67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年8月6日開催の取締役会において、当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会信託型ESOP」（以下「本制度」）の再導入を決議し、2020年11月9日開催の取締役会において、本制度の設定時期、金額等の詳細について決定しております。

本制度の導入に伴い、当社は2020年11月25日付で、第三者割当により、三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に対し、自己株式220千株を譲渡しております。

1. 取引の概要

当社が「日新社員持株会」（以下「当社持株会」）に加入する社員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする従業員持株会信託（以下「従持信託」）を設定し、従持信託は今後5年間にわたり当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、借入により調達した資金で予め取得しました。その後、従持信託は当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却いたします。

当社持株会に対する当社株式の売却を通じて従持信託に売却益相当額が累積した場合には、これを受益者要件を充足する社員に対して分配します。

なお、従持信託が当社株式を取得するための借入に対して当社が補償を行うため、当社株価の下落等により、従持信託が借入債務を完済できなかった場合においても、当社が銀行に対して残存債務を弁済することから、社員の追加負担はありません。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間末799百万円、577千株であります。

3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

当第3四半期連結会計期間末850百万円

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度における有価証券報告書の（追加情報）に記載した内容から重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	110,546	44,393	1,091	156,030	—	156,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74	108	191	374	△374	—
計	110,620	44,501	1,282	156,404	△374	156,030
セグメント利益	2,194	419	666	3,280	1	3,282

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	105,045	2,916	966	108,928	—	108,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	14	190	266	△266	—
計	105,107	2,931	1,156	109,195	△266	108,928
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	2,350	△1,920	584	1,014	10	1,024

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (その他の注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

## ※1 受取保険金

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

2018年8、9月及び2019年9、10月に発生した台風の被害における保険金の受取額であります。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

該当事項はありません。

## ※2 特別退職金

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

連結子会社である日新(常熟)国際物流有限公司における、特定顧客向け事業の縮小に伴う、従業員の退職金であります。

※3 災害による損失

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

2018年8、9月及び2019年9、10月に発生した台風の被害に伴う支出額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。